

# 平成20年度当初予算主要事業説明

## 一般会計 (09)消防費

No.	事業名	概要	H20 予算額	H19 予算額	所管
1	職員研修費 (救急高度化整備事業)	救命効果の向上を図るため、救急救命士を計画的に養成する。 ・平成20年度養成計画数 2人 ・平成19年度末養成状況 72人予定	5,150	5,152	消防局 総務課
2	火災予防広報費 (火災のない安全なまちづくり事業)	火災による被害の軽減を図るため、引き続き、住宅用火災警報器の設置促進を図るとともに、市民の初期消火に対する知識技術の習得のため消火器体験実習会を開催する。	4,748	5,687	消防局 予防課
3	消防活動費 (応急手当普及啓発事業)	救命効果の向上を図るため、計画的に応急手当指導員を養成し、応急手当普及員バンク事業の拡大を図りながら応急手当の普及啓発を推進する。 ・目標 講習回数200回、受講者数5,000人 ・応急手当指導員養成計画数 6人	2,778	2,351	消防局 警防課
4	消防水利整備事業費 (耐震性貯水槽)	震災時の大規模火災に対応するため、容量100㎡の耐震性貯水槽(1基)を整備する。 設置場所 婦中町速星地区	17,840		消防局 警防課
5	消防車両等整備事業費	老朽化した消防車両等の更新整備等を図る。 ・普通消防ポンプ車(常備) 1台 (非常備) 3台 ・高規格救急車 2台 ・査察車 1台	118,237	100,430	消防局 警防課
6	消防施設整備事業費 (分団器具置場の改築事業)	老朽化した分団器具置場を、防災資機材等を収納できる施設として建替え、地域の防災力の向上を図る。 ・草島分団 ・五福分団 ・星井町分団	63,850	24,450	消防局 総務課
7	(新規事業) 一般事務費 (消防・救急無線デジタル化事業)	消防・救急無線のデジタル化に向け、県内の電波伝搬調査を実施するための分担金を支出する。	10,499		消防局 通信指令課
8	(新規事業) 消防施設整備事業費 (水橋消防署移転建設事業)	老朽化した水橋消防署を移転建設し、防災拠点としての機能の向上を図る。 ・敷地面積 5,457.51㎡ ・構造 鉄骨2階建て、延べ床面積1,200㎡ ・その他 資機材倉庫 (2カ年継続事業)	101,851		消防局 総務課

一般会計  
(09)消防費

No.	事業名	概 要	H 2 0 予算額	H 1 9 予算額	所管
9	消防活動費 (自主防災組織育成 指導事業)	地震等の大規模災害が発生した場合、自主防災組織が効果的な活動を実施できるように、新規に結成された組織を重点に、初期消火や応急救護等の指導を行う。	854	854	消防局 警防課
10	消防水利整備事業費	消防水利の不足地域に防火水槽を整備するとともに、消火栓の新設等や無蓋防火水槽の有蓋化工事等を行い、消防水利の充実及び安全管理を図る。 ・ 防火水槽 (40m <sup>3</sup> ) 3基 ・ 消火栓 49栓 ・ 無蓋防火水槽の有蓋化等 14基	51,076	54,513	消防局 警防課